EPSON
EXCEED YOUR VISION

PS-500 シリーズ

# ユーザーズガイド

# はじめに

PS-500 シリーズをお買い求めいただき誠にありがとうございます。

本製品を正しくご使用いただくために、必ず同梱のクイックスタートガイドと合わせて、このユーザーズガイドをお読みください。
製品同梱のクイックスタートガイドは、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

## ユーザーズガイドの記載について

| | |
|---|---|
| | 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。 |
| | 補足説明や参考情報を記載しています。 |
| | 関連した内容の参照ページを示しています。参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。 |

## 商標

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft, Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標登録です

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc.が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

iPhone は Apple Inc.の商標です。

Android は Google Inc. の商標です。

IOS は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc.の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

# 製品のご利用にあたり

## 本製品の概要

本製品は、3 軸加速度センサーによる活動量計測に加えて、独自センサーアルゴリズムによる脈拍計測で、運動だけでなく、睡眠や心の状態までも可視化することができます。

### 普段の活動を
### トレーニングに。

リアルタイムに脂肪燃焼ゾーン等の運動強度がわかるから、通勤時間を効果的なトレーニングとして活用できます。

### こころの
### 状態を知る。

生活の中で、どんな時にリラックスしているのか。緊張しているのか。毎日の活動の指標になります。

### トレーニングを
### より効率的に。

5段階のトレーニングゾーンやカロリー消費を知ることで、目的に合った運動をコントロールしやすくなります。

### 眠りの質を
### 把握する。

睡眠時の脈拍の推移で、睡眠時間と共に眠りの深さを可視化することができます。

PS-500 および専用アプリケーション（以下、スマートフォン、Web アプリケーションを総称して PULSENSE View といいます）で何ができるかについては、以下のサイトをご覧ください。
http://www.epson.jp/pulsense/

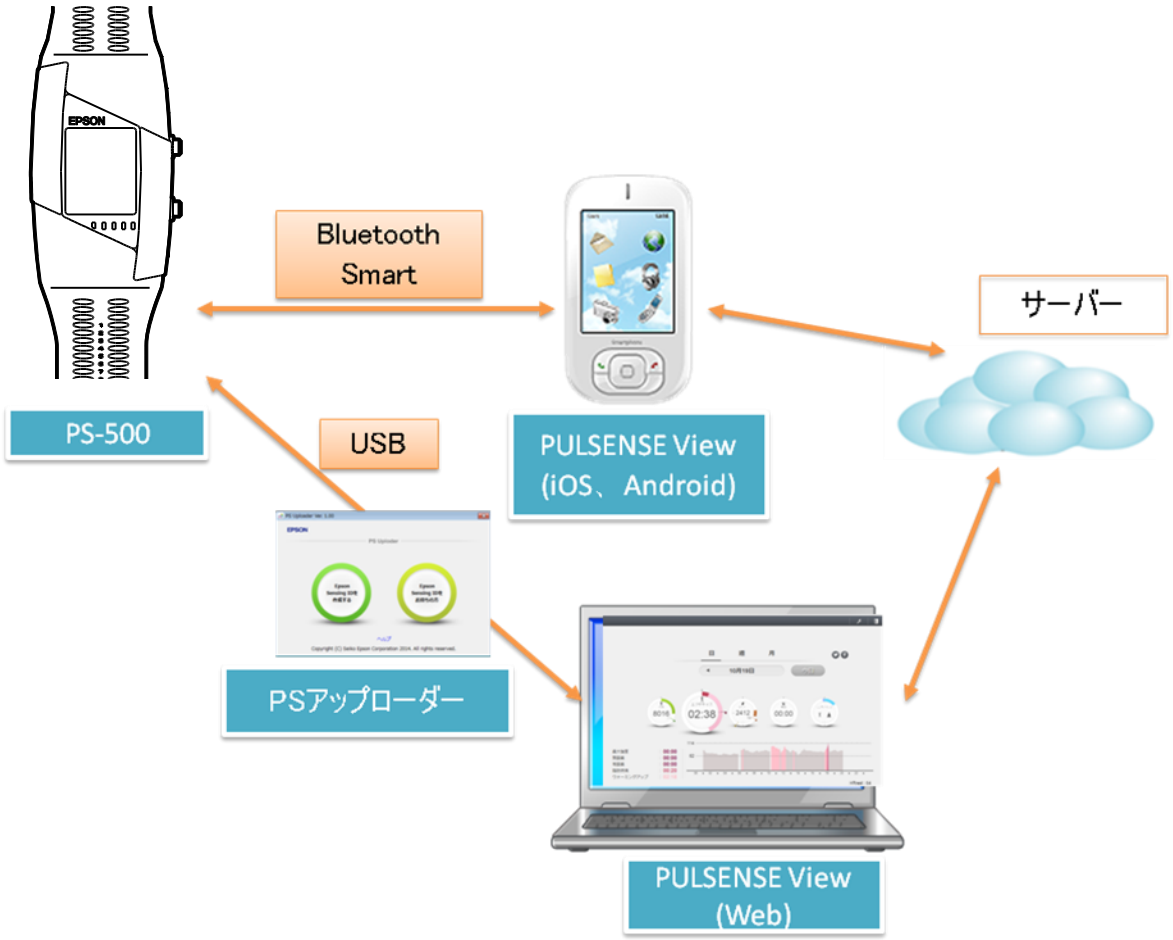
# 使用環境

本製品で計測したデータを、専用アプリケーションで見るためにはスマートフォンまたはパソコンが必要です。
対応機器/OS につきましては、下記のホームページでご確認ください。
http://www.epson.jp/support/

| | |
|---|---|
| 機器からのデータ転送 | PULSENSE View(iOS, Android™):スマートフォンの Bluetooth Smart(以下、Bluetooth)を使用 |
| | PS Uploader : 充電用クレードルを使用したパソコン経由 |
| 記録の閲覧 | PULSENSE View(iOS, Android™) |
| | PULSENSE View(Web) |

**参考**

- 本製品の充電には USB インターフェイスを使用しますので、パソコンまたは AC アダプター(オプション:SFAC01)が必要です。
- 本体は日常生活防水で 3 気圧防水です。水がかかる程度(汗や洗顔時の水滴、雨など)の環境で使用できます。水道水を蛇口から直接かけたり、水泳など水圧の変化が激しい環境では使用できません。



# もくじ


**はじめに** **2**

ユーザーズガイドの記載について ..... 2
商標 ..... 2
ご注意 ..... 2

**製品のご利用にあたり** **3**

本製品の概要 ..... 3
使用環境 ..... 4

**もくじ** **5**

**安全にお使いいただくために** **7**

記号の意味 ..... 7
使用上のご注意 ..... 8
製品本体ならびに付属品について ..... 8
充電用クレードルについて ..... 10
保管上のご注意 ..... 10
電波に関するご注意 ..... 10
VCCI クラス B 情報技術装置 ..... 11
周波数について ..... 11
無線通信使用上の注意 ..... 11

**準備と基本操作** **13**

本製品でできること ..... 14
計測項目 ..... 14
脈拍ゾーン表示 ..... 14
同梱品を確認する ..... 16
オプション ..... 16
各部の名称と役割 ..... 17
アイコン ..... 18
初めて使用するとき ..... 19
計測データを記録するには ..... 19
電池保護モードから解除するには ..... 19
装着方法 ..... 22
初期設定（アプリケーションインストール方法） ..... 23
スマートフォンの場合 ..... 23
パソコンの場合 ..... 27

**使い方** **29**

計測の方法 ..... 30
脈拍を検出する（計測開始） ..... 30

運動中の確認 32
平常時の計測 35
計測を停止する 36
計測中の各画面（脈拍計測） 37
計測中の各画面（脈拍計測 OFF） 40
バックライトの点灯 41
メニューの操作 42
メニュー画面を表示する 42
メニュー画面での操作 42
メニューの各画面 43
ゾーン確認画面 44
Bluetooth 設定画面 45
LED ランプ設定画面 50
バイブ設定画面 50
電源 OFF 画面 50
バージョン確認画面 51
言語設定 51

**便利な機能 52**

報知設定 53
起床アラーム 54
バンドの締め具合を最適に調整する 55

**メンテナンス 58**

お手入れ 59
使用後のお手入れ 59
電池交換 60
ファームウェアを更新する 61
スマートフォンをお使いの場合 61
パソコンをお使いの場合 61

**困ったときは 62**

ご注意 63
トラブルを解決する 64
FAQ 66
通信について 66
計測について 69
行動判定 70
脈拍を検出できないとき 71
システムをリセットする 72
別のスマートフォンとペアリングする 73

**付録 74**

製品仕様 75
本体仕様 75
クレードル仕様 75
オプション仕様 75
本製品に関するお問い合わせ先 76
アフターサービスについて 77

# 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書（同梱のクイックスタートガイドとこのユーザーズガイド）をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に従わずに取り扱うと、故障や事故の原因になります。

- 本製品の取扱説明書(同梱のクイックスタートガイドと、このユーザーズガイド)は製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。
- 本製品を国外に持ち出して使用する際には、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
  条件に合わないエリアでご使用しないでください。
- 本製品は医療機器ではありません。運動の目安としてお使いください。

## 記号の意味

本製品の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上、本文をお読みください。

| |
|---|
| ⚠警告<br>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意<br>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。 |

| | |
|---|---|
| | この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。 |
| | この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。 |

# 使用上のご注意

## 製品本体ならびに付属品について

| ⚠警告 | |
|---|---|
| | 運動は体調に合わせて行ってください。急な運動や無理な運動は危険です。運動の途中で気分が悪くなるなど体調の変化を感じた場合は運動を中止し、医師などの診察を受けてください。 |
| | 装着部にかゆみなどの異常を感じたら、穴位置を緩めに変更してください。<br>それでもかゆみなどが改善されない場合は、速やかに使用を中止し医師などに相談してください。 |
| | 本製品は、センサーで脈拍計測できますが、医療機器ではありません。本製品を使用するにあたり体調等にご不明点があるときは、医師にご相談ください。 |
| | 歩行中・運動中などに製品を注視しないでください。転倒や交通事故等を起こすおそれがあります。 |
| | 本製品は精密な機械、電子部品で作られています。次のような場所での使用や保管はしないでください。感電/火災/動作不良/故障の原因となります。<br>・ 温度、湿度変化の激しい場所<br>・ 揮発性物質のある場所<br>・ 油煙やホコリの多い場所<br>・ 火気のある場所<br>・ 強い磁気の近く（スピーカーの近くなど） |
| | お客様による分解/修理はしないでください。感電/事故の原因となります。 |
| | 小さなお子様の手の届くところには、本製品を放置しないでください。 |

| ⚠注意 | |
|---|---|
| | 「脈拍センサー」と接触している皮膚の汗は定期的に拭き取ってください。<br>汗をかいた状態で長時間使用すると、かゆみ、かぶれが生じるおそれがあります |
| | 本体を装着して、アレルギーやかぶれを起こした場合は、直ちに使用を中止し、皮膚科など専門医にご相談ください。 |
| | むくみなどにより就寝時に装着がきつくなることがあります。<br>就寝前は穴位置を１つ緩めに装着することをお勧めします。 |
| | ご使用中に汗をかいたら、手首と本体の汗を拭いてください。<br>そのままご使用になるとかゆみなどを起こす場合があります。 |

| ⚠注意 | |
|---|---|
| | 直接蛇口から強い流水をかけることは避けてください。水道水は非常に水圧が高く、防水不良になるおそれがあります。 |
| | 入浴やサウナの際はご使用を避けてください。蒸気や石鹸、温泉の成分などが防水性能の劣化やサビの原因となります。 |

**!重要**

- 本体を使用しない場合でも、6 か月に 1 回は必ず充電してください。長期にわたり放置すると充電池の性能が劣化し使用できなくなることがあります。
- 製品本体に内蔵の充電池はご自身で交換することができません。長期間の使用により、満充電後の使用時間が低下した場合は電池寿命が考えられますので、販売店または弊社修理センターまで電池交換を依頼してください。

### 充電用クレードルについて

| ⚠警告 | |
|---|---|
| | 充電用クレードル（USB ケーブル一体型）、AC アダプターを使用の際は、次の事項にご注意ください。次の事項を守らないと感電、火災、故障の原因となります。<br>・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。<br>・ 破損した AC アダプターおよび USB ケーブルを使用しないでください。<br>・ 煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。<br>・ 異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。<br>・ USB ケーブルは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。<br>・ 指定外の AC アダプターでは、充電しないでください。 |

## 保管上のご注意

| ⚠注意 | |
|---|---|
| | 磁気や電磁波の影響を受ける場所（テレビの上など）に置かないでください。データが壊れ消失することがあります。 |
| | 化学物質が発散している場所や薬品にふれる場所に放置しないでください。ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー液、トイレ用洗剤、接着剤などが付着すると本体 /バンドが変色したり、破損したりすることがあります。 |

## 電波に関するご注意

本製品は Bluetooth® Smart 技術搭載機器です。対応するスマートフォンの動作時に計測データを無線通信で製品本体と送受信する機能を有します。本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けています。よって、本製品を使用するときに、無線局の免許は必要ありません。

以下の行為をすると法律で罰せられることがあります。

・ 本製品の分解および改造

・ 本製品の証明および認証番号を消去

## VCCI クラス B 情報技術装置

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

**認証情報**

**JAPAN**

R007-AB0280
TD13-0411001

## 周波数について

本製品は、2.402GHz～ 2.480GHz の周波数を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

## 無線通信使用上の注意

本製品の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。この周波数では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか又は電波の発射を停止した上、「本製品に関するお問い合わせ先」にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「本製品に関するお問い合わせ先」に記載の弊社インフォメーションセンターにご相談ください。

「本製品に関するお問い合わせ先」76 ページ

| 警告 | |
|---|---|
| | 航空機内や病院など使用を制限された区域では、現場の指示（機内アナウンス等）に従ってください。 |

| ⚠警告 | |
|---|---|
| | 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。 |

# 準備と基本操作

ご使用にあたって、以下の準備が必要です。

「本製品でできること」14 ページ

「同梱品を確認する」16 ページ

「各部の名称と役割」17 ページ

「初めて使用するとき」19 ページ

「初期設定（アプリケーションインストール方法）」23 ページ

# 本製品でできること

## 計測項目

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 脈拍 | 血管に光を当て、血流による血管の拡大、縮小に伴う反射量の変化を計測しています。 |
| 消費カロリー | 脈拍計測中は、加速度と脈拍数をもとに計測しています。そのため、より状況に応じた精度の高いカロリーを計算できます。 |
| 歩数 | 加速度センサーにより、歩行、ランニングに伴う腕振りを計測しています。 |
| 距離 | 歩数と身長から換算した歩幅をもとに計測しています。 |
| 運動強度 | 現在の脈拍数から運動の強度がどの程度の脈拍ゾーンにあるのか計算します。 |
| 睡眠 | 脈拍と活動量から睡眠に入ったことを自動計測します。睡眠時の脈拍推移で、睡眠時間とともに眠りの「浅い」「深い」を可視化します。 |
| こころバランス | 安静時にもかかわらず脈拍数が上がっていた状態を興奮や緊張などにあたる「エキサイト」と、また穏やかな脈拍が続いていた時間を「リラックス」として計測します。 |

参考

- 実際に歩行、ランニングをしていなくても、腕を振る周期的な往復運動をすると、歩数がカウントされることがあります（運転、歯磨き等）。
- 距離は、その時の歩き方、走り方によっては、実際の移動距離に対して誤差が大きくなることがあります。

## 脈拍ゾーン表示

運動強度を知るのに役立つ脈拍ゾーンの状態を、本体 LED ランプとバイブレーションでお知らせします。

| 目的 | 心拍※1 | LEDライト表示※2 | PULSENSE View画面表示 心拍ゾーン | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 5段表示 | 3段表示 |
| 瞬発力・運動能力向上 | 90-100% | | 最大強度 | トレーニング |
| 筋力・基礎代謝量向上 | 80-90% | | 無酸素 | |
| 持久力向上 | 70-80% | | 有酸素 | |
| 脂肪燃焼・体重減量 | 60-70% | | 脂肪燃焼 | 脂肪燃焼 |
| | 50-60% | | | |
| | 40-50% | | | |
| ウォーミングアップ | 0-40% | | ウォーミングアップ | ウォーミングアップ |

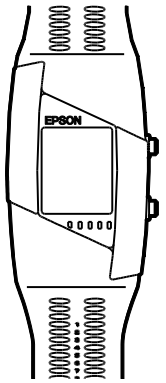
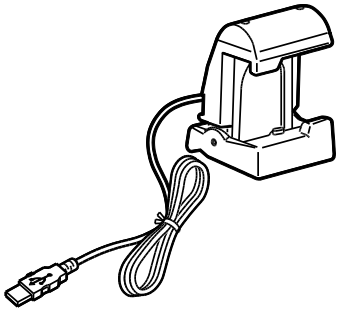
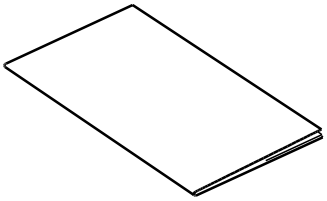
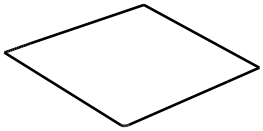
※1：心拍の%は、PULSENSE Viewにてプロフィールに入力した内容を元に、カルボーネン法で算出しています。
心拍(%)=(心拍数－安静時心拍数)÷(最大心拍数－安静時心拍数)×100
※2：心拍「0-40%」時：本体タップにより点滅　心拍「90-100%」時：より早い点滅

参考

このゾーンに対応する脈拍数は、お客様の年齢、身長などの身体情報をもとに算出されます。また、睡眠時も脈拍を計測していただくことで、更にお客様にあった脈拍にゾーン設定されます。

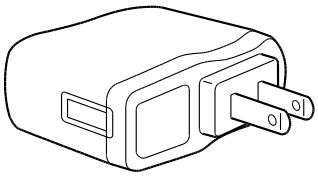
# 同梱品を確認する

お買い求めいただいた本製品の同梱品をご確認ください。万一、不足や不良がある場合は、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

| 本体 | 充電用クレードル |
| --- | --- |
|  |  <br>※ 以降の記載では「クレードル」と表記します。 |
| **クイックスタートガイド** | **保証書** |
|  |  |

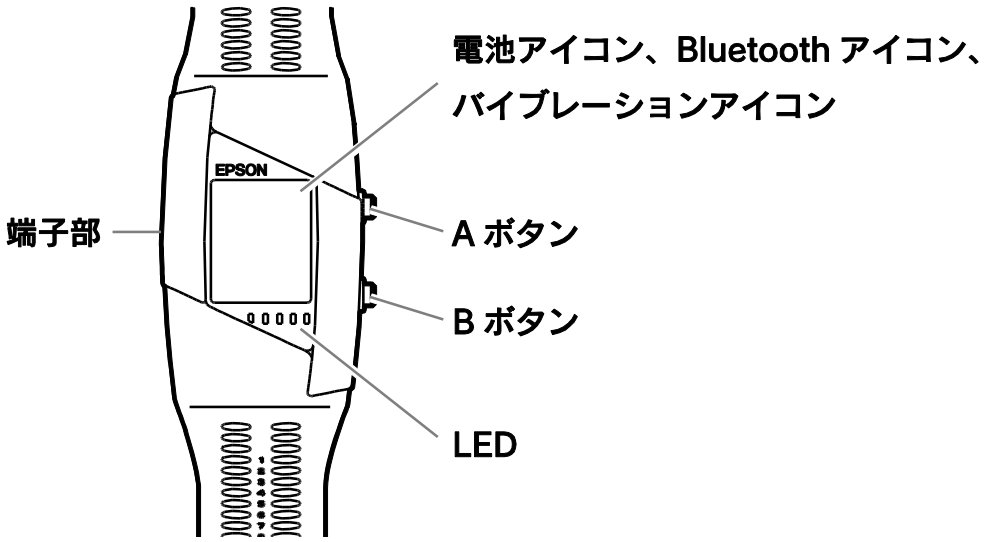
## オプション

AC アダプターはオプションです。使用される場合は、別途ご購入ください。

| AC アダプター（型番：SFAC01） |
| --- |
|  |

# 各部の名称と役割

各部の名称と役割を説明します。




### A ボタン

計測スタート/ ストップ、決定に使います。

### B ボタン

選択に使います。

長押しをすると、キャンセル機能として働きます。

### 端子部

クレードルにセットし充電やパソコンからのデータ転送を行います。

### LED ランプ（青、オレンジ）

計測中に脈拍ゾーンを示します。また目標設定した場合、1 日の達成度が示されます。

### 「タップ」操作

本体をタップすると液晶画面のバックライトがオンになります。さらにタップすると、メニュー画面を表示します。

シングルタップ：液晶画面のバックライト点灯
LED ランプの点灯（LED ランプ設定がタップの場合）

ダブルタップ：メニュー画面を表示

※短い期間に 2 回タップしてください。

# アイコン

## 電池アイコン

電池残量を確認できます。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 電池アイコン | | | | |
| 使用可能時間 | 36～20 時間 | 20～12 時間 | 12～3 時間 | 3～0 時間 |

※ご利用条件により使用可能時間は異なります。

連続使用時間は約 36 時間です（LED ランプやバイブレーションの動作により変化します）。

電池残量が約 1 時間になると本体のオレンジ色の LED ランプが点滅します。すぐに充電してください。

## Bluetooth アイコン

本製品は、スマートフォンと Bluetooth で通信します。本体とスマートフォンが接続中のとき、Bluetooth アイコンが点灯します。接続してない時は（未ペアリング、スマートフォンとの通信が遮断された状態）、点滅します。

| | Bluetooth アイコン | 状態 |
|---|---|---|
| | 消灯 | Bluetooth OFF |
| | 点滅 | スマートフォンの検索中 |
| | 点灯 | スマートフォンと接続中 |

## バイブレーションアイコン

バイブレーションの設定が「ON」になっているとバイブレーションアイコンが表示されます。

どの脈拍ゾーンでバイブレーションを動作させるか PULSENSE View で選択できます。

| | バイブレーションの設定 | 設定可能な脈拍ゾーン | 説明 |
|---|---|---|---|
| | OFF | ― | アイコンは表示されません。 |
| | ON | 脂肪燃焼、有酸素、無酸素 | アイコンが表示されます。設定した脈拍ゾーンに達したときにバイブレーションと LED ランプでお知らせします。どの脈拍ゾーンでバイブレーションを動作するかは、PULSENSE View で設定します。 |

# 初めて使用するとき

## 計測データを記録するには

**!重要**

- 機器が正しい日時に設定される前は、計測データが記録されません。
- 日時設定については、PULSENSE View で機器を登録いただくか、スマートフォンとペアリングする必要があります。

## 電池保護モードから解除するには

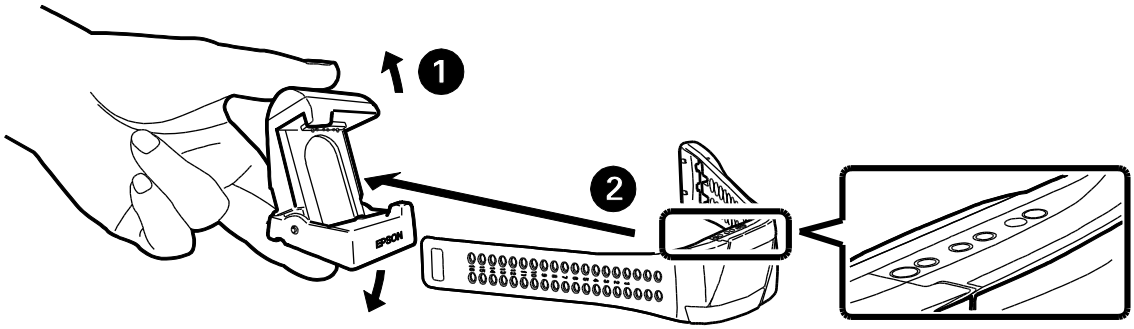
**!重要**

- 購入後は、機器が電池保護モードになっております。この状態においては、何の機能も働きません。
- この状態を解除するためには、充電が必要となります。

### 1 本体をクレードルにセットします。

**1** クレードルの上下を持って開きます。

**2** 本体の端子部が上になるようにセットします。



## 2 USB コネクターを接続します。

参考

USB や AC アダプターから直接充電しても、何度も充電エラーが表示される場合には、機器の故障が考えられます。販売店または弊社修理センターまでお問い合わせください。

### 2-1 パソコンを使う場合

クレードルの USB コネクターをパソコンの USB ポートに接続します。

USB ハブ等は介さずクレードルとパソコンを直接接続してください。

参考

すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

### 2-2 AC アダプターを使う場合

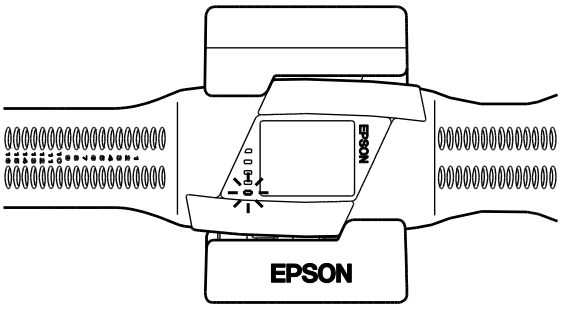
クレードルの USB コネクターを AC アダプターに接続してコンセントに差し込みます。

指定の AC アダプター（オプション：SFAC01）のご使用をお勧めします。指定外の AC アダプターをご使用になると、充電できない場合や動作しなくなる場合があります。

参考

正しくセットできると、本体の LED ランプが点灯します。

・ 充電中はオレンジ色、充電完了時は青色が点灯します。




・ 充電完了までの目安は 2.5～3.5 時間ですが、状況により異なります。

**!重要**

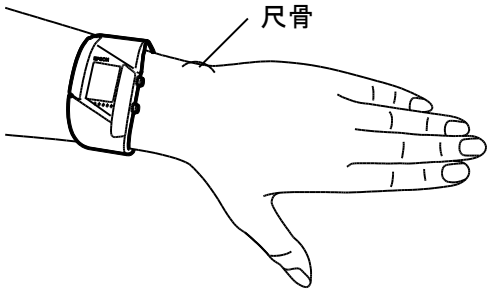
- PS-500 とスマートフォンをペアリングし、PULSENSE View を起動すると、脈拍計測のデータが記録できるようになります。ペアリングをしないと計測が記録されません。
- 本体を使用しない場合でも、6 か月に 1 回は必ず充電してください。長期にわたり放置すると充電池の性能が劣化し使用できなくなることがあります。
- 製品本体に内蔵の充電池はご自身で交換することができません。長期間の使用により、満充電後の使用時間が低下した場合は電池寿命が考えられますので、販売店または弊社修理センターまで電池交換を依頼してください。

## 装着方法

装着の際は、尺骨にかからない位置で腕の甲側に装着します。

参考

腕に密着するように装着してください。運動時など、脈拍が取れにくいときは、きつめにリストバンドを調整してください。睡眠やデスクワーク等の安静時には、腕への圧迫感を緩和するため、運動時より穴を１つ緩めに装着することをお勧めします




### ⚠警告

装着部にかゆみなどの異常を感じたら、穴位置を緩めに変更してください。

それでもかゆみなどが改善されない場合は、速やかに使用を中止し医師などに相談してください。

### ⚠注意

- むくみなどにより就寝時に装着がきつくなることがあります。就寝前は穴の位置を１つ緩めに装着することをお勧めします。
- ご使用中に汗をかいたら、手首と本体の汗を拭いてください。そのままご使用になるとかゆみなどを起こす場合があります。
- 手首を曲げたり握ったりする動作が長い時間続くと、血液の流れが悪くなり、脈拍計測ができない場合があります。このようなときは、手首を伸ばして安静にすると計測できるようになります。
- 寒い季節は、手足の血流の流れが少なくなるため、脈拍が取れにくくなることがあります。指先が冷たいときは血行を良くするため、首を温めることも効果的です。
  体が十分温まるように肌の露出を避け、手袋や帽子を着用するなど暖かい服装で計測してください。

# 初期設定（アプリケーションインストール方法）

**!重要**

- 初めて使用するときは初期設定が必要です。アカウント作成やペアリングなどを行いますので、スマートフォン、またはパソコンをご用意ください。
  スマートフォンの機種および OS は、下記 URL でご確認ください。
  http://www.epson.jp/support/
- 本体での時刻・日付設定はできません。スマートフォン、パソコンと同期したときに自動設定されます。
- 計測は、ペアリングしてから行ってください。ペアリングする前のデータは保存されません。

日時やプロファイルを設定するまでは、下記の初期設定で動作します。

| 初期設定 | | 説明 |
|---|---|---|
| 言語 | 英語 | PULSENSE View の環境設定で設定された言語に機器も変更されます。 |
| 時刻 | 2001/1/1（月） 0:00:00 | Time Profile を持っているスマートデバイス、または PULSENSE View とペアリングすると、時刻が設定されます。<br>PS Uploader でパソコンと接続するとパソコンの時刻に設定されます。 |
| 性別 | 男 | |
| 年齢 | 40 歳 | 生年月日：1974/1/1 |
| 身長 | 170 ㎝ | |
| 体重 | 70kg | |
| Zone（脈拍数値） | 112～145bpm | |
| 報知 LED ランプ | 点滅 | |
| 報知 バイブレーション | ON（脂肪燃焼） | |
| 報知 電話・メール・予定表 | OFF | |
| 機器での記録 | 日時設定後、可能になる | |

## スマートフォンの場合

### 1 スマートフォンのアプリケーションストアで専用アプリケーション（無料）「PULSENSE View」を検索し、インストールします。

スマートフォンの「インターネット通信」「Bluetooth」が有効になっていることを確認してください。設定方法はスマートフォンの操作説明を確認してください。

## 2 「PULSENSE View」を起動します。

本体をクレードルにセットし通電状態で、スマートフォンの近くにおいてください（目安は 1m 以内）。

> **参考**
>
> スマートフォンの Bluetooth は ON に設定してください。
>
> スマートフォンはネットワークに接続（Wi-Fi、3G 等）しておいてください。

**「PULSENSE View」のアイコン**

## 3 「PULSENSE View」のガイドに従って操作を進めてください（ここでは、iPhone の画面を使用します）。

> **!重要**
>
> 初期設定中は、機器をクレードルに接続したまま、外さないでください。設定が正しく終了しないことがあります。
>
> エラーが表示された場合は、操作を最初からやり直してください。

PULSENSE をお使いになるにあたっては、エプソンセンシングサービスに登録していただく必要があります。

ソフト使用許諾、プライバシーステートメントに同意される場合は[上記に同意する]ボタンを押してください。

下図の[登録]ボタンを押して、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

プロフィールの登録が完了すると機器の登録になります。
PS-500 を選択してください。

「スキップ」を選択した場合は、PULSENSE View の閲覧のみできます。機器の同期や記録はできません。すべての機能を使用するときは、ここでの操作終了後、PULSENSE View の「機器設定」からペアリングをしてからご使用ください。

PS-500 の裏側に記載されているシリアル番号の末尾 3 ケタと、スマートフォンの画面に表示されている数字が同じものを選択して[登録]ボタンを押してください。

ペアリングの要求画面が表示されたら
ペアリングを選択して、次に進んでください。

## 4 「機器を登録しました」のメッセージが表示されれば、初期設定は完了です。

**参考**

機器の登録ができなかった場合は、下記を参照して、再度ペアリングの解除と接続を行ってください。

「ペアリングを解除する場合」49 ページ

「別のスマートフォンとペアリングする」73 ページ

## パソコンの場合

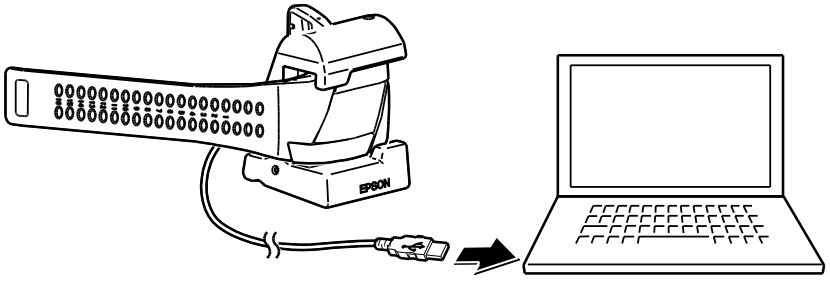
**1** 以下のホームページから「PS Uploader」をダウンロードします。
http://www.epson.jp/download/

**2** ダウンロードしたファイルを実行して、インストールします。

**3** インストール完了後「PS Uploader」が自動で起動し、タスクトレイに格納されます。

「PS Uploader」のアイコン

**4** 本体をクレードルにセットし、クレードルの USB コネクターをパソコンの USB ポートに接続します。



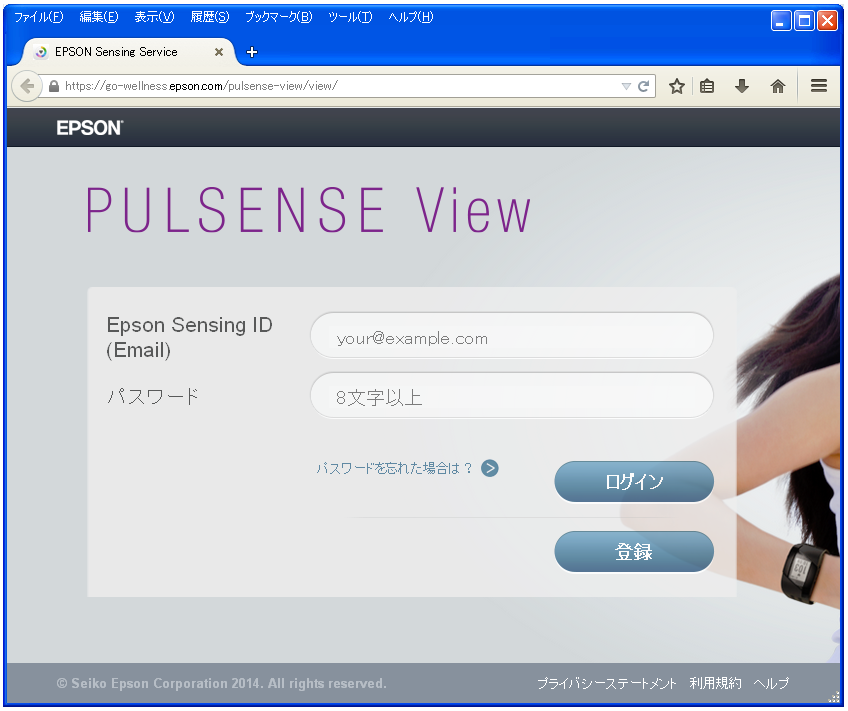

**5** アカウント作成画面が起動します。画面に表示される指示に従って操作を進めてください。

ID 作成をする場合のステップは、スマートフォンの場合と同じです。
「PULSENSE View」のガイドに従って操作を進めてください。

**6** 「機器の登録が完了しました」のメッセージが表示されれば初期設定完了です。

**7** **パソコンから閲覧する場合：**
**この初期設定で登録した「Epson Sensing ID」と「パスワード」を使って、以下の URL からログインできます。**

**https://go-wellness.epson.com/pulsense-view/view/**



# 使い方

「脈拍」を計測して身体の状態を知ることにで、より健康的な生活をサポートします。

「計測の方法」30 ページ

「バックライトの点灯」41 ページ

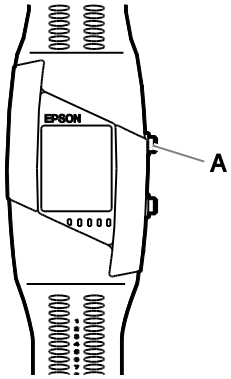
「メニューの操作」42 ページ

「言語設定」51 ページ

# 計測の方法

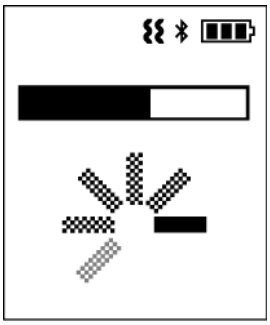
## 脈拍を検出する（計測開始）

### 操作するボタン

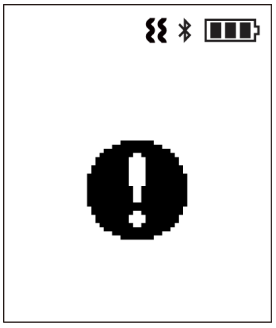



**1 本体を腕に装着し、[A]を押します。**

脈拍の検出が始まり、プログレスバーに進行度合いが表示されます。



・ 1 分間脈拍を検出できない場合、短いバイブレーションと下記のエラーが機器に表示されます。

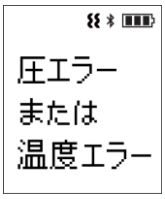


・ その後、再度脈拍を検出するよう試みます。

・ 3 分経過しても（1 分間の脈拍検出 ×3 回）検出できなかった場合は、長いバイブレーションとエラーが機器に表示され、検出を終了します。再度、検出を試みたい場合は、[A]ボタンで開始してください。

### 脈拍を検出できないとき

脈拍を検出できないときは、下記のとおりバイブレーションと画面表示にてお知らせします。

| 画面の表示 | 状態 | 対処方法 |
|---|---|---|
| | 装着が正しくできていない可能性があります。 | バンドをきつく締めたり、緩かったりしていないか、正しく装着していることを確認します |
|  | 装着が正しくできていないか、皮膚温度が低くて検出できない可能性があります。 | 装着の確認、および指先や手首を温めてください。 |

**参考**

姿勢や環境等によっては脈拍計測開始までに時間がかかる場合があります。

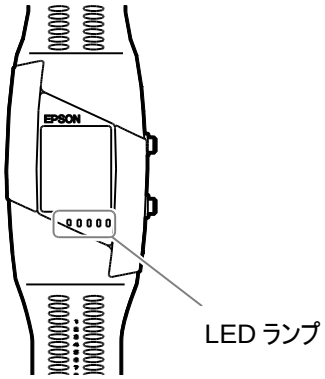
- 脈拍検出中、安静にしていると、検出しやすくなります。
- 機器が脈拍を検出するまで安静にしていてください。
- 腕の位置を心臓より下にしてください。
- 腕を組むなど血流を阻害する状態は避けてください。
- 外気温が低いと血流が悪くなり脈拍を検出しにくくなります。低温エラーが出ている場合は暖かい恰好で運動してください。

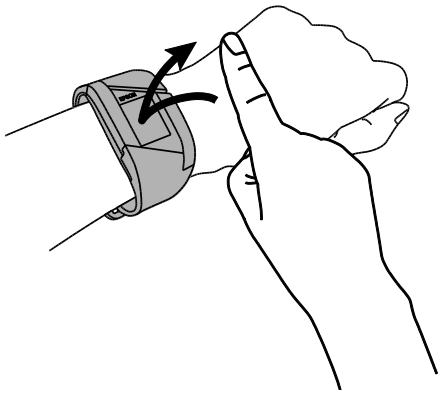
## 2 脈拍を検出できると、計測基本画面が表示されます。

# 運動中の確認

## LED ランプで確認する

脈拍の計測状態を本体で確認するときは、本体上部をタップ（指で軽く 1 回たたく）します。点脈拍数に応じた LED ランプの点滅により現在の運動の強さをお知らせします。このとき、液晶画面のバックライトも点灯します。



参考

脈拍が正しく計測できない状態が続くと、画面のハートマークが点滅します。

脈拍によるゾーンは下記のものがあります。これらのゾーンは、初期設定における年齢と安静時脈拍から脈拍ゾーンとして算出（※1）しています。また、睡眠時に本製品をご使用いただくと、個々人に合った設定値に更新されます。

| LED ランプパターン | 脈拍ゾーン | タップ | ゾーン |
|---|---|---|---|
| ■□□□□ | 40%未満 | 遅い点滅 | ウォーミングアップ |
| ■□□□□ | 40%～49% | 速い点滅 | 脂肪燃焼ゾーン |
| ■■□□□ | 50%～59% | ↑ | ↑ |
| ■■■□□ | 60%～69% | ↑ | ↑ |
| ■■■■□ | 70%～79% | ↑ | 有酸素運動ゾーン |
| ■■■■■ | 80%～89% | ↑ | 無酸素運動ゾーン |
| ■■■■■ | 90%～ | より速い点滅 | 最大強度 |

※1 カルボーネン法を使用しています。

参考

- 脈拍ゾーンは、スマートフォンの「PULSENSE View」で設定した内容（年齢、性別、身長）をもとにして、自動的に設定されます。そのうち、ご自分の脂肪燃焼ゾーンは、「PULSENSE View」のプロフィールから確認できます。詳しくは、「PULSENSE View」のヘルプを参照してください。
- 本体とスマートフォンを Bluetooth 接続することで、専用アプリケーション「PULSENSE View」で脈拍の計測状態をリアルタイムで確認できます。詳しくは、「PULSENSE View」のヘルプを参照してください。
- LED ランプとバイブレーションの ON/OFF の設定は、PULSENSE View の機器設定からできます。
- PULSENSE View で LED ランプの設定が OFF に設定されていると、LED ランプの動作は行いません。

### その他の確認方法

本体のご利用開始時には、運動中にタップすることで LED ランプが点滅します。PULSENSE View の機器設定により、目標脈拍ゾーンに入ると自動で点滅したり、LED ランプやバイブレーションをオフにできます。

### LED ランプを変更する

「PULSENSE View」の機器設定（報知設定-LED）により、脈拍計測中の LED ランプの表示モードを選択できます。詳しくは、「PULSENSE View」のヘルプを参照してください。

| 表示モード | 動作概要 |
|---|---|
| タップ | 脈拍計測中に本体上部をタップ（指で軽く 1 回たたく）することにより、脈拍の計測状態を LED ランプの点滅（約 10 秒間）で確認できます。タップ操作が無い場合、LED ランプは OFF 状態です。 |
| 点滅 | 脈拍計測中にゾーン 40%を超えると、その脈拍ゾーンを LED ランプが自動で点滅（点滅周期：2 秒ごと）してお知らせます。消灯中もタップにより確認ができます |
| 点灯 | 脈拍計測中にゾーン 40%を超えると、その脈拍ゾーンを LED ランプが自動で点灯して知らせます。消灯中もタップにより確認できます。 |
| OFF | LED ランプは点灯しません。 |

## バイブレーションで確認する

「PULSENSE View」の「機器設定」により、脈拍計測中の脈拍ゾーンに応じたバイブレーションを選択できます。詳しくは、「PULSENSE View」のヘルプを参照してください。

| 状態 | 詳細 |
|---|---|
| 脈拍が設定ゾーンに入ったとき | バイブレーションが 1 回動作します。<br>そのときのゾーンに応じた LED ランプが点滅します。 |
| 脈拍が設定ゾーン上限を超えたとき | 上限を超えたときにバイブレーションが動作します。上限を超えて滞在し続けると 1 分ごとに動作します。<br>そのときのゾーンに応じた LED ランプが点滅/点灯します。 |
| 脈拍が設定ゾーンからゾーン下に変化したとき | ゾーン下に変化してから、30 秒後にバイブレーションが動作します。<br>40%未満の遅い LED ランプの点滅パターンが表示されます。 |
| 報知や起床アラーム（その他） | バイブレーションが 1 回動作します。<br>画面に報知内容のアイコンが表示されます。 |

## 目標達成率

プロフィール設定時に登録頂いた目標体重に向けた、1 日当たりの目標達成率を LED ランプで確認できます。この確認は、歩数やカロリーなど画面変更した直後に表示されます。

※目標設定してない場合は、この機能は有効にはなりません

| LED ランプパターン | 達成率 |
|---|---|
| | 20% |
| | 40% |
| | 60% |
| | 80% |
| | 100% |

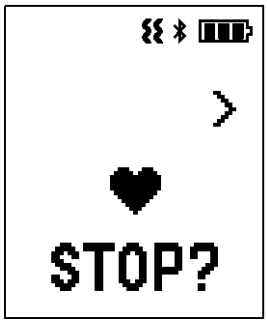
## 平常時の計測

運動していない平常時も脈拍を計測していただくと、「エクササイズ」だけでなく、「こころバランス」、「睡眠」などの目安を確認できます。計測結果は、専用アプリケーション「PULSENSE View」で確認できます。詳しくは、「PULSENSE View」のヘルプを参照してください。

## 計測を停止する

**1 計測を停止するには、[A]を押します。**

下記の確認画面になります。




参考

誤って[A]ボタンを押してしまった場合、この画面で 10 秒間そのままにするか、または[B]ボタンを押してください。

元の計測画面に戻ります。

**2 再度[A]を押すと計測を停止します。**

参考

- 計測しないで移動するときは、振動などを誤って脈拍と検出しないように、計測を停止してから持ち運んでください。
- 計測中に腕から本体を外しても、しばらく脈拍数が表示されることがあります。

## 計測中の各画面（脈拍計測）

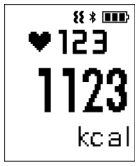
脈拍計測中は、計測情報を表示できます。[B]を押すたびに各画面が切り替わります。

**ゾーン滞在時間画面**

ゾーン滞在時間画面 38 ページ

B

**消費カロリー画面**




消費カロリー画面 38 ページ

B

**歩数画面**

歩数画面 38 ページ

B

**距離画面**

距離画面 39 ページ

B

**脈拍ゾーン画面**

脈拍ゾーン画面 39 ページ

B

**時間画面**

時間画面 39 ページ

B

**時計画面（脈拍非表示）**

時計画面（脈拍非表示） 40 ページ

B



**参考**

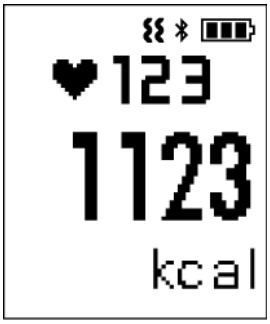
LED ランプ設定が ON の場合、本体上部をタップ（指で軽くたたく）すると、現在の脈拍ゾーンを点滅する LED ランプの数でお知らせします。

### ゾーン滞在時間画面

現在の脈拍数と、本日確認時点までの脂肪燃焼ゾーン内で運動した時間を表示します。

### 消費カロリー画面

現在の脈拍数と、本日確認時点までの消費カロリーを表示します。




### 歩数画面

現在の脈拍数と、本日確認時点までの歩数を表示します。

### 距離画面

現在の脈拍数と、本日確認時点までの移動距離を表示します。

### 脈拍ゾーン画面

現在の脈拍数と、現在の脈拍ゾーンを表示します。

脈拍ゾーンについては、下記を参照してください。

「運動中の確認」32 ページ

### 時間画面

現在の脈拍数と、日時、曜日を表示します。

### 時計画面（脈拍非表示）

現在の日時、曜日を表示します。脈拍数は表示されず、ハートアイコンのみ表示されます。

## 計測中の各画面（脈拍計測 OFF）

脈拍計測を OFF にしても、日付、消費カロリー、歩数、距離計測情報を表示できます。[B]を押すたびに各画面が切り替わります。

**消費カロリー画面**

消費カロリー画面 38 ページ

**時間画面**

時間画面 39 ページ

**歩数画面**

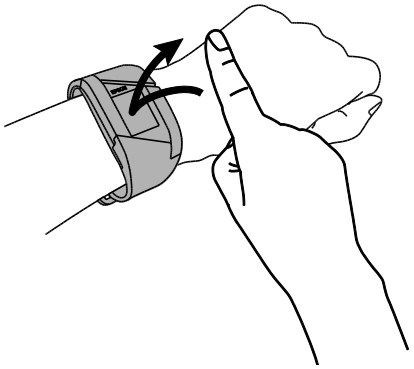
歩数画面 38 ページ

**距離画面**

距離画面 39 ページ

# バックライトの点灯

本体上部をタップ（指で軽く 1 回たたく）すると、液晶画面のバックライトが点灯します。暗いところで液晶画面を確認するときに便利です。

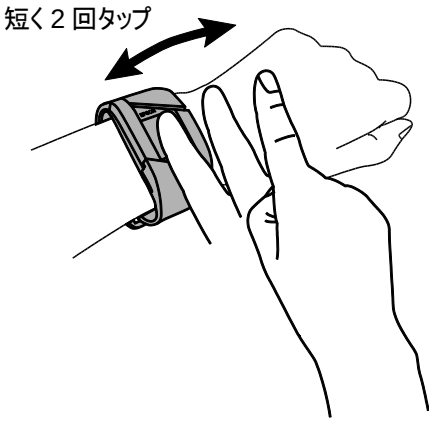


# メニューの操作

メニューでは、ゾーンに設定されている脈拍数の確認、Bluetooth の設定、システム設定ができます。

## メニュー画面を表示する

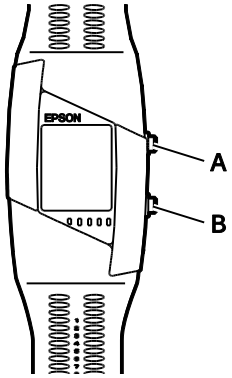
本体上部を、ダブルタップすると、メニュー画面が表示されます。




## メニュー画面での操作

メニュー画面での操作は、[B]で選択し、[A]で決定します。

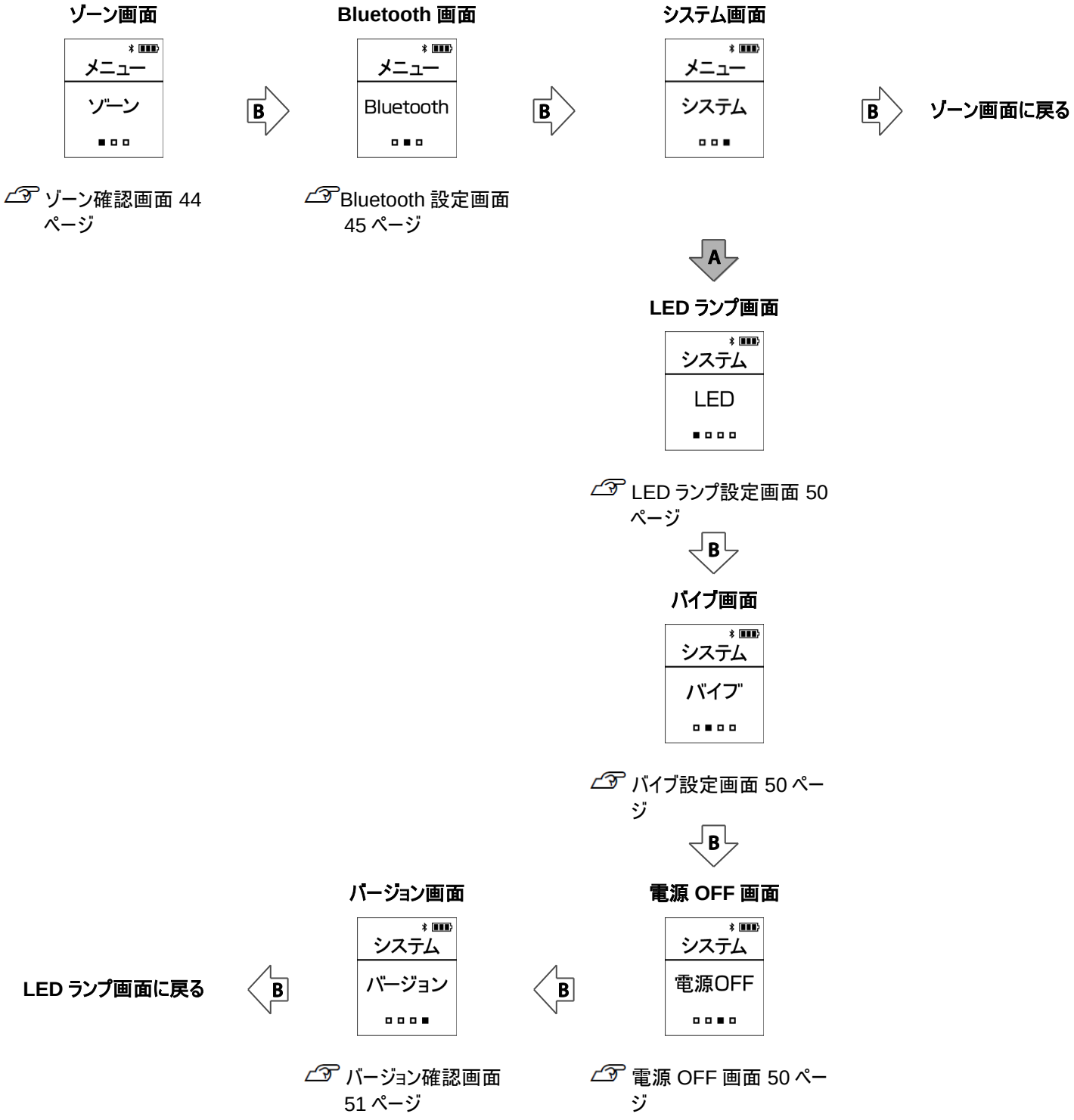
キャンセルしたい場合は、[B]を長押ししてください。



## メニューの各画面

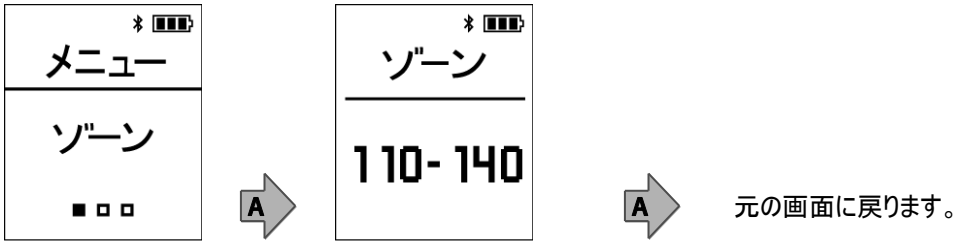
メニューでは[B]を押すたびに各画面に切り替わります。

システム画面で[A]を押すと、システム設定画面に切り替わります。



## ゾーン確認画面

機器から、目標脈拍ゾーンの脈拍値を確認できます。メニューより、下記画面にて、[A]を押すことで確認できます。




参考

目標脈拍ゾーンは、年齢や体力により異なります。初期は設定した年齢より計算されます。その後、睡眠時の脈拍計測を行う事により、数日程度で個人にあった値に変更されます。ただし、個人差や睡眠時のコンディションによりますので、期間や自動更新は保証されるものではありません。

## Bluetooth 設定画面

スマートフォンとの Bluetooth 接続を設定します。

### ペアリングを設定する場合

スマートフォンと本体をペアリング設定します。

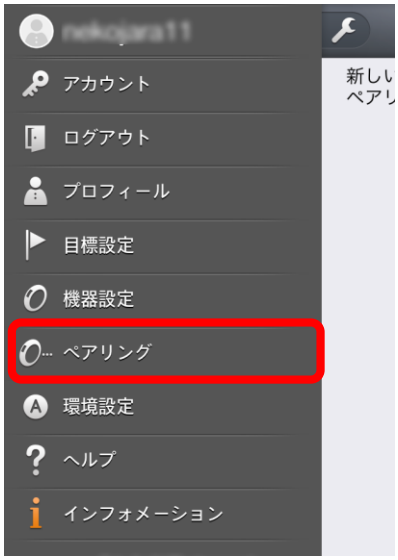
> 参考
>
> ・ スマートフォンは、本体の近く（1m 以内）に置いてください。
>
> ・ スマートフォンの Bluetooth を ON に設定してください。

### 1 スマートフォンの「PULSENSE View」を起動します。

スマートフォンの「インターネット通信」「Bluetooth」が有効になっていることを確認してください。詳しい設定方法はスマートフォンの操作ガイドに沿って実行してください

おおよそ、以下のステップになります。

PULSENSE View を起動します




「設定」の［ペアリング］を選択します。

初期登録ではステップに沿って、またご利用中のアプリケーションからはペアリングよりステップを進めると左記画面が表示されます。

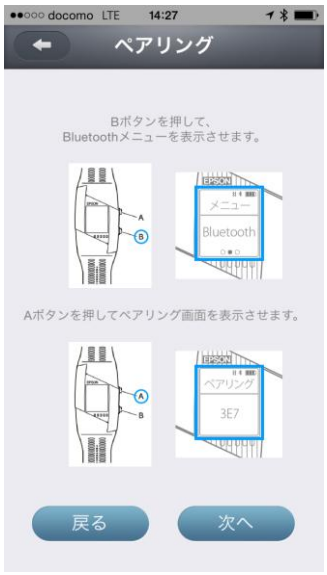
ここではペアリングする機器を選択します。

操作が異なりますので、PS-500 を押してください

次に、PS-500 の Bluetooth を ON にします。

PS-500 を 2 回タップして、メニュー画面を表示させてください。

そして、[次へ]ボタンを押します。




PS-500 の[B]ボタンを1回押して、Bluetooth メニューを表示させます。

PS-500 の[A]ボタンを押してペアリング画面を表示させます。

機器固有の番号3ケタが画面に表示されます。

[次へ]ボタンを押して進んでください。

機器を登録します。

PS-500 に表示された 3 桁と同じものを選択して、[登録]ボタンを押してください。

**!重要**

ペアリング通信中にクレードルにセット（充電）は行わないでください。
ペアリングに失敗します。

機器を登録できました。

PULSENSE Viewと共にご利用できます。

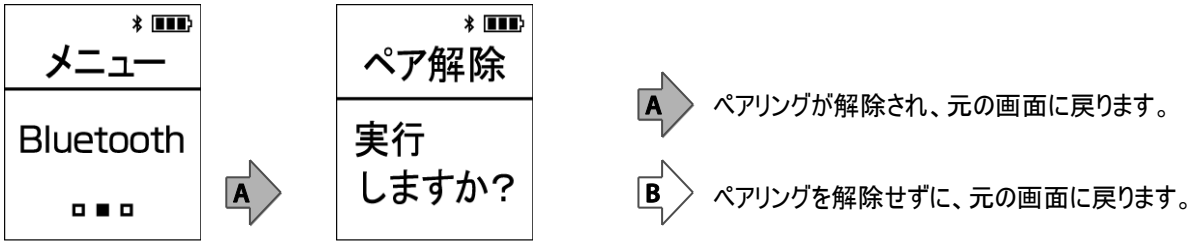
### ペアリングを解除する場合

スマートフォンと本体のペアリングを解除します。この解除によって、機器からは接続情報が無くなります。

参考

- この操作でペアリングを解除しても、スマートフォンの OS と PULSENSE View にはペアリング設定が残っています。両方の設定を削除してください。
  - スマートフォンの OS：Bluetooth の設定から、登録してあった PS-500 を削除します。
  - PUSLSENSE View：ペアリングから PS-500 を削除します。詳しくは、「PULSENSE View」のヘルプを参照してください。
- スマートフォンは、本体の近く（1m 以内）に置いてください。
- スマートフォンの Bluetooth は ON に設定してください。

**1 本体でのペアリング削除は、機器のメニューから実行してください。下記画面より、[A]を押すことでペアリング設定を解除します。**

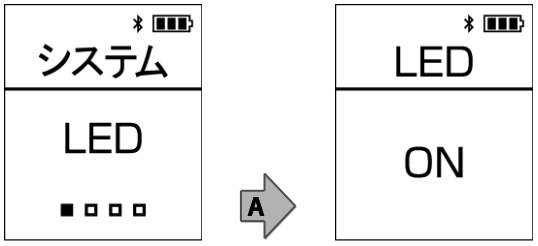



**2 「PULSENSE View」からのペアリング情報削除。**

スマートフォンの「インターネット通信」「Bluetooth」が有効になっていることを確認してください。方法はスマートフォンの操作説明を確認してください。

## LED ランプ設定画面

脈拍計測中の LED ランプの表示パターンを選択します。

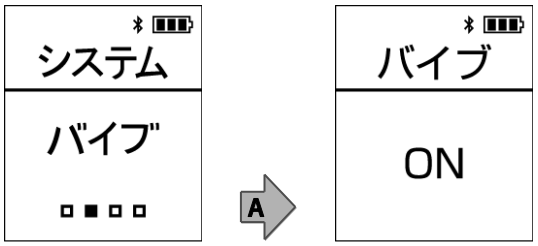



[TAP]、[FLASH]、[ON]、[OFF]を[B]で選択し、[A]で決定します。

各選択による表示パターンは、「 「LED ランプを変更する」33 ページ」を参照ください。

## バイブ設定画面

バイブレーションを選択できます。

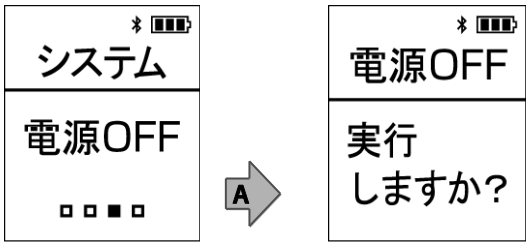



[ON]、[OFF]を[B]で選択し、[A]で決定します。

## 電源 OFF 画面

本体の電源をオフにすることで、電池の消費を抑えられます。長期間ご使用されない時などは、本モードにすることをお勧めします。

機器のメニュー⇒システムにて、電源をオフにします。




A 本体の電源がオフになります。

B 元の画面に戻ります。

（長押し）

電源オフ後は、下記の操作で電源オンになります。

- [A]または[B]を押す。
- 本体をクレードルにセットして充電する。

参考

長期間使用しないとき、飛行機に搭乗するときなどは、電源をオフにしてください。

ただし、6 カ月に 1 度は必ず充電してください

### バージョン確認画面

本体のソフトウェアのバージョンを表示します。

## 言語設定

参考

本体の言語設定は、「PULSENSE View」で設定します（本体や Web アプリケーションでは設定できません）。

本体の言語設定を変更することができます。選択可能な言語は、日本語・英語・フランス語・ドイツ語・繁体語です。

PULSENSE View の設定画面⇒環境設定より、言語を選択ください。

選択後、[A]または[B]ボタンを押すことによって、設定が反映されます。

# 便利な機能

計測したデータは、「PULSENSE View」で確認できます。

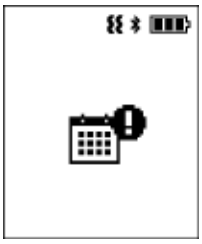
「報知設定」53 ページ

「起床アラーム」54 ページ

「バンドの締め具合を最適に調整する」55 ページ

# 報知設定

スマートフォンへのメール受信時、電話の着信時、およびスケジュール報知を、画面およびバイブレーション（設定時）でお知らせします。



報知設定は、「PULSENSE View」で有効に設定する必要があります。詳しくは、「PULSENSE View」のヘルプを参照してください。

**参考**

- スケジュールを報知するタイミングは、スマートフォンで設定した時間になります。
- 報知設定を行うには、本体とスマートフォンがペアリング済みで Bluetooth 接続されている必要があります。スマートフォンでは通知センターの設定も必要になる場合があります。設定方法はスマートフォンの操作説明を確認してください。
- バイブレーション設定を OFF にした場合、本機能は画面のみでの報知になります。
- Android™ のスマートフォンで報知機能を使用するには、スマートフォンが報知設定をサポートしている必要があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書を参照してください。
- 「PULSENSE View」の「機器設定」で LED ランプ、バイブレーション機能を OFF すると動作しません。

# 起床アラーム

設定している起床時刻以前に、計測した脈拍から快適に起床できるタイミングを判断して、起床アラームを画面およびバイブレーション（設定時）でお知らせします。

起床アラームは、「PULSENSE View」の「機器設定」にある「起床アラーム」で 5 個まで設定できます。

起床アラームは、「PULSENSE View」でアラーム時刻や判定時間などを設定する必要があります。詳しくは、「PULSENSE View」のヘルプを参照してください。

参考

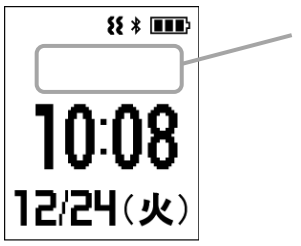
- 起床アラームは、設定時刻に必ず報知しますが睡眠の判定には個人差があります。
- 「PULSENSE View」の「機器設定」で LED ランプ、バイブレーション機能を OFF すると、起床アラームは動作しません。

# バンドの締め具合を最適に調整する

バンドが緩いと脈拍を検出できないことがあります。逆にバンドをきつく締めすぎると、血流が悪くなって脈拍が計測できないことがあります。

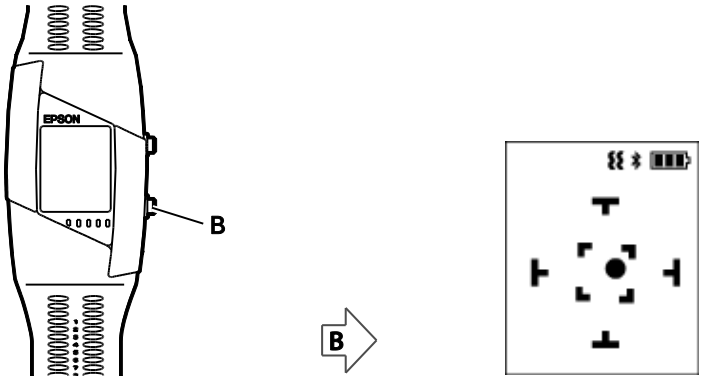
脈拍計測に適したバンドの締め具合は、下記の手順で確認できます。

## 1 脈拍の計測中でないことを確認します。



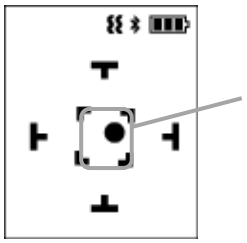

ハートアイコンや脈拍数が表示されていないことを確認。

## 2 バンドを緩めにして装着し、[B]を長押しします。
## バンドの穴に刻印されている番号を書き留めておきます。




## 3 姿勢を確認します。

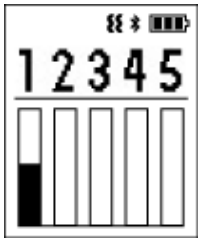
黒丸が中心にくるように本体の向きを調整して、静止します。



黒い丸が、この四角形の中に入るよう調整する。

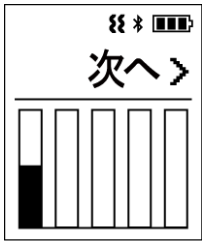
## 4 脈拍を計測します。

約 10～20 秒静止して計測してください。



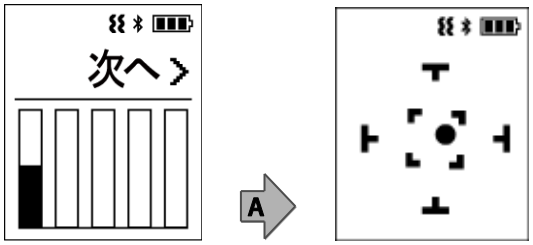

> **参考**
>
> 本体を動かすと、手順 3 の画面に戻りますので、再度姿勢を確認してください。

## 5 下記の画面が表示されたら、バンドの穴を 1 つ締めて装着し直します。バンドの穴に刻印されている番号を書き留めておきます。




## 6 [A]を押します。

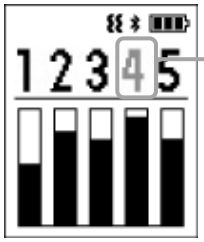
再度、本体の向きを調整して、静止します。




## 7 2 回目の計測が開始します。

手順 2～5と同様の操作を繰り返します。途中で、これ以上締められなくなった場合には、[B]ボタンの長押しで、終了することができます。

**8** **5 回目の計測が終了すると、バイブレーションが動作して、下記の画面が表示されます。**
**最適に脈拍を計測できたときの番号が点滅します。そのときに装着したバンド穴の番号を覚えておくと便利です。**




脈拍が最適に計測できたときの番号が点滅します。

# メンテナンス

本製品のお手入れの仕方や、電池の交換、ファームウェアの更新について説明しています。

「お手入れ」59 ページ

「電池交換」60 ページ

「ファームウェアを更新する」61 ページ

# お手入れ

## 使用後のお手入れ

本体の汚れは、定期的に掃除してください。

汚れたままにしておくとバンドの劣化を早めるおそれがあります。

バンド部分は、汚れたら湿らせた布等で拭き、乾いた布等でよく拭き取ってください。

センサー部分の清掃は、水で濡らし固く絞った柔らかい布で汚れを拭き取った後、乾いた布で水滴を拭き取るか、毛先の柔らかいブラシで汚れを取り除いてください。

**!重要**

- 汚れたままでのご使用はかゆみなどを起こす場合があります。
- 水や汗、汚れが付着したままクレードルにセットすると、接続端子部の腐食 /故障の原因となります。
- 本製品に使用されているシリコーン製のバンドは、長年の使用で色があせたり、弾力性が劣化する性質があります。

# 電池交換

本製品に内蔵の充電池はご自身で交換することができません。長期間の使用により、満充電後の使用可能時間が著しく低下した場合は電池寿命が考えられますので、販売店または弊社修理センターまで電池交換を依頼してください。有償にて承ります。

# ファームウェアを更新する

ファームウェアを更新することによって、新たな機能の追加や、機能の改善・修正を行います。最新版をダウンロードしてご使用いただくことをお勧めします。

**!重要**

- ファームウェアを更新すると、本製品に保存されている記録が消去され、設定が初期化される場合があります。
- ファームウェアを更新する前に、必ず本体と PULSENSE View を同期して、記録をアップロードしてください。

## スマートフォンをお使いの場合

ファームウェアアップデートがある場合には、「PULSENSE View」の設定アイコンにマークが入ります。

「PULSENSE View」の「機器設定」で「ファームウェアアップデート」を選択すると、ファームウェアを更新できます。

## パソコンをお使いの場合

ファームウェアアップデートがあると、メインメニューに機器ソフトウェアの更新ボタンが現れますので、ボタンを押してファームウェアを更新してください。

# 困ったときは

ご利用の際に発生するトラブルの対処方法を説明します。

☞「ご注意」63 ページ

☞「トラブルを解決する」64 ページ

☞「FAQ」66 ページ

☞「脈拍を検出できないとき」71 ページ

☞「システムをリセットする」72 ページ

# ご注意

- 本体使用後は、接続端子部を湿らせた布等で拭き、乾いた布等でよく拭き取ってから自然乾燥させてください。汚れたままクレードルにセットすると接続端子部の腐食 /故障の原因となります。
- 充電が不安定な場合には、本体やクレードルの接続端子部の汚れを湿らせた綿棒で拭き取るなどしてください。
- 製品本体の動作が不安定な場合や一部機能が正常に動作しないような場合には、本体をクレードルにセットして充電を行ってみてください。
- 画面や LED ランプのゾーン表示や脈拍数は過信せずに、苦しいときは運動を中止してください。
- 長時間使用するとき、睡眠中に装着するときは、通常よりもバンドを緩く装着してください。
- 自転車や自動車等の運転中の機器の操作は、危険ですのでしないでください。
- 計測データをスマートフォン経由でサーバーに送るため、1 日に 1 回はスマートフォンと Bluetooth 接続してください。

# トラブルを解決する

それぞれの項目を確認してください。

| 現象 | | 対処方法 |
|---|---|---|
| 基本動作 | 画面が表示されない。 | お買い上げ直後は、動作を停止しています。まず初めに充電してください。また、電池残量がなくなると、何も表示されません。充電してください。<br>「初めて使用するとき」19 ページ |
| | 操作しても反応しない、動作しない。 | 電池残量が低下していませんか？充電してください。<br>「初めて使用するとき」19 ページ |
| 充電 | クレードルにセットしても充電できない。<br>充電が度々途切れる。 | 周囲の温度が摂氏-5 ～35 度の場所で充電してください。<br>クレードルの接続を確認してください。<br>USB ハブ等は用いず、パソコンまたは指定の AC アダプターに直接クレードルを接続してください。<br>本体やクレードルの接続端子部を清掃してください。<br>「初めて使用するとき」19 ページ<br>上記内容を確認しても充電できないときは、故障が考えられます。直ちに充電を中止して、弊社インフォメーションセンターにご相談ください。 |
| | 充電時、本体やクレードルが熱くなる。 | 故障が考えられます。直ちに使用を中止して、弊社インフォメーションセンターにご相談ください。 |
| | 充電エラーが表示される。 | 周囲の温度が摂氏-5～35 度の場所で充電してください。 |
| 防水性能 | 水泳時にも使用したい。 | 本体は 3 気圧防水のため、水泳ではご使用にならないでください。 |
| | センサー部ガラスの内側が曇る。 | 外気と本体内部の温度差によって、本体内部の湿気が結露することがあります。一時的な曇りであれば、本体への影響はありません。そのままお使いください。長時間、曇りが消えない場合は内部に水が浸入していることが考えられます。弊社インフォメーションセンターにご相談ください。 |
| アクセサリ | オプション製品が欲しい。 | AC アダプターは、オプション販売しています。販売店にご相談ください。<br>また、クレードルの追加購入は、販売店または弊社インフォメーションセンターにご相談ください。 |

| 現象 | | 対処方法 |
|---|---|---|
| 通信 | 本体をスマートフォンに接続しても正常に認識されない。 | スマートフォンの Bluetooth 設定が ON になっていることを確認してください。<br>「PULSENSE View」の「ペアリング」で機器が設定されていることを確認してください。<br>「別のスマートフォンとペアリングする」73 ページ |
| | スマートフォンのペアリングが解除されてしまった。 | |
| | スマートフォンと通信（ペアリング）が切れてしまい復帰しない。 | スマートフォンで下記の設定をしてください。<br>①Bluetooth を一度 OFF にしてから再度 ON にしてみてください。<br>②スマートフォンの電源を入れ直してみてください。<br>③ペアリングを解除（アプリケーション、スマートフォン、機器）し、再設定してください。 |

以上の対処を行っても解決しない場合は、弊社インフォメーションセンターにご相談ください。

# FAQ

製品に関して、重要な項目を記載します。

それ以外の詳細は、「PULSENSE View」のヘルプ、FAQ を参照してください。

必要に応じて、エプソンサポートページの FAQ も合わせて参照ください。http://www.epson.jp/support/faq/

## 通信について

| 状態 | 原因と対処方法 |
|---|---|
| ペアリングができない | 過去にペアリングした場合は、アプリケーションとスマートフォンから以前のペアリング情報を削除し、機器のペアリングも削除してから再試行してください<br><br>【ペアリング情報削除方法】<br>■アプリケーションからの削除<br>①画面左上の「スパナマーク」をタップし、設定メニュー画面を表示します。<br>②「ペアリング」をタップし、表示された画面の右上にある「ゴミ箱マーク」をタップします。<br>③ご利用の製品型番が表示されている左横に「赤丸印の中にー」のマークが表示されるので、このマークをタップします。<br>④製品型番の右横に表示された「削除」をタップすると削除されます。<br>■スマートフォンからの削除<br>・iOS<br>①スマートフォンの「設定」をタップ後、「Bluetooth」をタップします。<br>②表示された製品型番の右横にある「i」マークをタップ後、「このデバイスの解除」をタップすると削除されます。<br>・Android™<br>①スマートフォンの「設定」をタップ後、「Bluetooth」をタップします。<br>②表示された製品型番をタップすると、「切断しますか」と表示されますので「OK」をタップすると削除されます。<br>■機器からの削除<br>①機器を 2 回タップして、「メニュー画面」を表示させます。<br>②[B]ボタンを 1 回、[A]ボタンを 2 回押すと削除されます。 |
| 機器との通信ができない | 以下の原因が考えられます。<br>・ OS のペアリング情報が解除されている。<br>・ 別の機器とペアリングしてしまっている。<br>・ ペアリングは有効だが、Bluetooth が切断されている。 |

| 状態 | 原因と対処方法 |
| --- | --- |
| データの同期に時間がかかる | データの同期は、スマートフォンと機器が近くにあり、Bluetooth 通信が正常であれば、操作をしなくても 1 時間に 1 度データをサーバーに送信します。<br>長い時間同期していない場合には、同期に時間がかかる場合があります（目安として、1 時間分のデータの転送時間が 15 秒以上）。<br>スマートフォンと機器が離れていたり、通信が遮断したときには、1 時間ごとのデータ通信が行われることがありますが、計測データが失われることはありません。 |
| Bluetooth 接続ができない | Bluetooth 接続ができなくなったときや、その他の復帰しにくいエラーが起きたときには、下記をお試しください。<br>・ iPhone／Android™ の設定で Bluetooth を一度 OFF にして再び ON にします。<br>・ アプリケーションを停止した後、再度起動します。<br>・ iPhone をシャットダウンした後、再度起動します。<br>①iPhone の上部にある、電源ボタンを長く押します。<br>②「スライドで電源オフ」バー右にスライドすると、電源がオフになります。<br>③再び電源ボタンを押すと Apple のロゴマークが表示され、iPhone が起動します。<br>・ Android™ のシャットダウンした後、再度起動します。<br>お使いの Android™ の再起動方法に従って、再起動してください。<br>・ クレードルを使って機器のリセットします。<br>（または、機器電源の OFF/ON）<br>USB 接続されたクレードルに機器をセットした後、機器を取り外すことでリセットされます。<br>・ アプリケーションのバージョンが最新であることの確認してください。<br>バージョンが古い場合は、バージョンアップを行った後、再度接続を試してください。<br>・ ファームウェアのバージョンが最新であることの確認<br>バージョンが古い場合は、バージョンアップを行った後、再度接続を試してください。<br>・ 2.4GHz 帯を利用する電子機器（電子レンジなど）が近くにない環境で、再度接続を試してください。 |

| 状態 | 原因と対処方法 |
| --- | --- |
| Webと通信ができない | 【パソコン】<br>・ インターネットに接続できますか？<br>LAN ケーブルを確実に差し込みましたか？<br>インターネット接続に必要な機器類の設定はできていますか？<br>無線接続の設定はできていますか？<br>・ ご利用のセキュリティーソフトウェアの設定で、アプリケーションがブロックされていませんか？ |
| | 【スマートフォン　3G/4G 環境】<br>・ 電波状況は良好ですか？<br>電波環境の良いところで通信してください。<br>・ モバイル通信の設定が「OFF」になっていませんか？<br>モバイル通信設定を「ON」してください。 |
| | 【スマートフォン　Wi-Fi 環境】<br>・ WI-Fi への接続設定は完了していますか？<br>スマートフォンの「設定」から Wi-Fi が「ON」になっていることを確認してください。<br>利用可能なネットワークにログインしてください。<br>・ 利用可能なネットワークがありますか？<br>Wi-Fi が利用できる環境で Web に接続してください。 |
| 機器登録に失敗する | ・ 機器、あるいはスマートフォンに、過去のペアリング情報が残っている可能性があります。<br>（過去に別の組合せでペアリングしたことがある場合など）<br>ペアリングを完全に解除してください。<br>・ 機器との Bluetooth 接続ができない可能性があります。 |

## 計測について

| 状態 | シーン例 |
|---|---|
| 機器が動作しているのかわからない | ・ 脈拍計測している場合は、脈拍センサーを確認してください。<br>緑色の光が出ている場合は動作しています。<br>・ 脈拍計測していないとき（飛行機搭乗モード）は機器をタップしてください。<br>LED ランプが点灯する場合は動作しています。<br>・ アプリケーションと接続している場合は、リアルタイムメータを確認してください。<br>脈拍数が表示される場合は動作しています。 |
| ハートマークが白抜きになりました | ・ 脈拍を一時的に計測できなくなったことを表示しています。<br>しばらく安静にしていると再度脈拍を検出しマークも戻ります。<br>・ 激しい運動を行っている場合脈拍を計測しにくくなります。<br>運動強度を落として様子を見てください。 |
| 脈拍計測を止めるにはどうすればよいですか？ | [A]ボタンを押すと計測停止を確認する画面になりますので、再度[A]ボタンを押してください。計測が停止します。<br>機器を腕から外し、テーブルなどに置いたままにして1～6 分経過すると自動的に停止します。<br>ただし、機器が傾いているなど置き方によっては装着状態と判断されることがあり停止しない場合があります。 |
| 脈拍計測が開始できません（エラーになる） | ・ バンドの締め具合が適切でない（緩い/きつい）と脈拍が検出しにくくなり計測エラーになります。<br>機器がグラグラしたり簡単に動いたりしない程度にバンドの取り付けを調整してください。<br>・「低温エラー」が表示される場合は、温かい恰好をする等手首の温度を上げてください。<br>手首の温度が低いと血流が悪くなり、脈拍検出しにくくなります。 |
| スマートフォンとの通信が切れてしまい復帰しません | ・ スマートフォンをカバンや机の中に入れたまま、その場を離れるなどにより一時的に通信が途絶えると復帰に時間がかかる場合があります。<br>スマートフォンを機器の近くに置き（身に着ける）1～2 分程お待ちください。<br>・ 状況が変わらない場合は、<br>①Buletooth を一度 OFF にしてから再度 ON にしてみてください。<br>②スマートフォンの電源を入れ直してみてください。<br>③ペアリングを解除（アプリケーション、スマートフォン、機器）し、再設定してください |

| 状態 | シーン例 |
| --- | --- |
| 機器を取り外しても停止しません | ・ 機器を取り外し1～6 分間静止状態になると停止する仕組みとなっていますが、下記の場合停止しないことがあります。<br>①振動などにより機器に動きが加えられると、計測準備状態になり停止しません。<br>②机などに機器を置いたとき、機器の角度が判定基準より大きい場合。<br>機器の側面が真下を向くように置いてください（約 15 度までの傾きであれば停止します）。<br>・ 腕から外すときの状況によっては、機器が非装着と判断できないため、計測を継続することがあります<br>①腕から外す際にセンサーに入る光量が大きく変化しなかった場合<br>②就寝中など回りが暗い中で腕から外した場合<br>・ 飛行機搭乗モードに入れない状態で機器をカバンなどに入れている場合は、カバンを持つときや移動するときなどの振動により、脈拍検出が開始されます<br>このとき、脈拍計測が開始されることがあります。カバンの中ではセンサーに入る光に大きな差が発生しないため、計測を継続し続けることがあります（アプリケーションでは 120 拍または 60 拍が表示されます） |

## 行動判定

| 状態 | シーン例 |
| --- | --- |
| 睡眠がうまく判定できない | 睡眠がうまく判定できないときは、スマートフォンおよび Web から睡眠判定時間を指定します（通常は全時間で自動判定します）。<br>毎日のおおよその睡眠判定時刻を入力することで、指定した時間で睡眠を判定しやすくなり、それ以外の時間では睡眠と判定されることはなくなります。<br>飲酒後や発熱などにより、脈拍数が高めの場合には睡眠が判定しにくくなることがあります。 |
| 寝ているのに睡眠と判定されません | ・ 起きて安静にしているときと、睡眠時の脈拍数に差がない場合（体質、飲酒時）は、睡眠と判定されにくいことがあります。<br>就寝、起床時間が規則的な場合は、アプリケーションの「睡眠設定」で就寝と起床時刻を設定することで判定しやすくなります。<br>・ アプリケーションで「睡眠設定」を利用している場合は、設定時間外に睡眠をとっても睡眠と判定されません。この場合は、リラックスと判定されます。<br>・ 昼寝のように睡眠時間が短い（1 時間以内）場合は、睡眠として判定されません。この場合はリラクッスと判定されます。 |

# 脈拍を検出できないとき

脈拍計測は微小な血流の変化を光の反射によって計測しています。そのため、以下のような条件では、脈拍が正しく計測できずに急に値が上下する、運動中に脈拍が上がらない等の現象が発生する場合があります。その他の計測においても、環境によっては、正しく計測できない場合があります。

| 動作状態 | 状態 | シーン例 |
|---|---|---|
| 脈拍計測 | 腕を頭より高く上げるような運動 | 何度も手を振り上げるエアロビクス。バーベルを持ち上げる筋トレ。 |
| | 手首に激しい動きを伴う運動 | ボクシングの連続パンチ。<br>バスケットボールやバレーボールで手首を連続して動かす。 |
| | 物を強く握る動作がある運動 | グーパーのような手首の運動を、数多く繰り返す。 |
| | 水圧の変化が大きい運動 | 水泳。 |
| | 機器と手首に隙間がある<br>（装着が緩い） | 腕を動かすと機器が大きく動いたり、回転したりする。<br>センサーの緑の LED ランプが横から漏れて見える。<br>**対処**：センサーの LED ランプの光が漏れない程度に装着してください。ランニング等の運動時には、機器がふらついてしまう可能性があるため、きつめに装着してください。 |
| | 装着がきつい | 血流を止めてしまっている。<br>**対処**：センサーの LED ランプの光が漏れない程度に装着してください。 |
| | 低温状態 | 皮膚の温度が 27℃を下回る。<br>**対処**：手首だけでなく、体全体を暖かくして運動してください。 |
| | 自転車やエアロバイク | 運動または安静は、本体の加速度センサーで判断します。手を動かさない運動や、荷物を持った歩行等では、エクササイズと判断できず、安静時に脈拍が上昇するエキサイトとして認識することがあります。 |
| 歩数（距離） | 手首を定期的に動かす | うちわで仰ぐ、歯磨き、ドライヤーで髪の毛を乾かす等。<br>コーナーの連続する運転。 |
| | 自転車等 | 振動が周期的に伝わる。 |
| | 機器を手首に着けない | 鞄に入れて持ち歩く、腰に付ける。 |

# システムをリセットする

動作が不安定なときは、本体をクレードルにセットし、充電してください。充電によってシステムがリセットされ、正常な動作に戻ります。その際、スマートフォンの電源を入れ直してください。

「初めて使用するとき」19 ページ

充電しても改善しないときは、インフォメーションセンターへお問い合わせください。

「本製品に関するお問い合わせ先」76 ページ

# 別のスマートフォンとペアリングする

別のスマートフォンでご利用になる場合には、本体と新しいスマートフォンとの再ペアリングが必要になります。

## 1 ペアリングを開始する前に

・スマートフォンをインターネットに接続（Wi-Fi、3G 等）
・PULSENSE View のインストール
・スマートフォンの Bluetooth の電源を ON
・スマートフォンの Bluetooth 設定で、同じ本体の番号が登録されていたら登録情報を削除
・本体のペアリングを解除「ペアリングを解除する場合」49 ページ

## 2 ペアリングする

「PULSENSE View」の手順に沿って、ペアリングを実行してください。

「初期設定（アプリケーションインストール方法）」23 ページ参照

スマートフォンの操作については、ご利用のスマートフォンの操作説明を確認してください。

# 付録

「製品仕様」75 ページ

「本製品に関するお問い合わせ先」76 ページ

「アフターサービスについて」77 ページ

# 製品仕様

## 本体仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 型番 | PS-500 |
| サイズ | 縦 45x横 35x厚 14mm（センサー部除く） |
| 重量 | 約 44g |
| 対象腕周り | 140～190mm |
| 電池 | 充電式　リチウムイオン電池　75mAh |
| 連続計測時間 | 約 36 時間（使用環境による） |
| 充電時間 | 約 3.5 時間（満充電までの最長時間） |
| 防水性能 | 3 気圧防水 |
| 無線 | Bluetooth Smart |
| 使用温度範囲 | 摂氏-5～40 度 |
| 保存温度範囲 | 摂氏 -20～60 度 |

## クレードル仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 使用温度範囲 | 摂氏　5～35 度 |
| 機能 | 充電、PC 経由でのデータ転送 |

## オプション仕様

以下の製品はオプション販売しております。販売店にご相談ください。

### AC アダプター仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 型番 | SFAC01 |
| 入力 | AC 100V 50/60Hz |
| 出力 | DC 5V / 1.0A |

# 本製品に関するお問い合わせ先

●インフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】　**050-3155-8280**

＊ 記載の内容は予告なく変更になる場合がございます。
＊ 受付時間等、最新の情報はエプソンのホームページをご確認ください。 http://www.epson.jp/support/
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8590 へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

松本修理センター

【所 在 地】　〒390-0863 松本市白板 2-4-14 エプソンサービス（株）

【電話番号】　**050-3155-7110**

＊ 記載の内容は予告なく変更になる場合がございます。
＊ 受付時間等、最新の情報はエプソンのホームページをご確認ください。 http://www.epson.jp/support/
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
松本修理センター：0263-86-7660

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル 1F

●オプション品・消耗品ご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または
通話料無料 0120-956-285）でお買い求めください。（2014年8月 現在）

# アフターサービスについて

- 製品の修理/点検については販売店または弊社修理センターにご相談ください。
- 長期間の使用により、満充電後の使用可能時間が低下した場合は電池寿命が考えられますので、販売店または弊社修理センターまで電池交換を依頼してください。有償にて承ります。
- 製品本体のバンド、電池は保証書適用の対象外となります。
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は製造終了後 6 年を基準としています。
- 万一故障の際に、製品本体に記録されているデータについての保証は致しかねます。
- 保証書には製品のシリアルナンバーを表示したシールが貼ってあります。シールの貼ってないものは無効となります。

**●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp**

**各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。**

**インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。**

**http://www.epson.jp/faq/**

**●MyEPSON**

**エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。**
**お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、エプソン製品をもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。**
**製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。**

| | |
|---|---|
| インターネットでアクセス！ | **http://myepson.jp/** |

**▶カンタンな質問に答えて会員登録。**